

Interface 2026 年 10 月号(8/25 発売)特集のご案内

特集

モデルを装置に組み込んで…高レスポンス/ネット不要/ 低コスト

マイコン/Linux ボードで学ぶ！ミニマル AI 作り

● 本特集のねらい

開発現場における AI は急速に普及が進んでいます。特にソフトウェア開発においては、LLM に代表される生成 AI の登場により、優秀なコーディング・アシスタントとして開発に使われるようになってきました。

一方、AI 自体を装置に組み込んで利用する「エッジ AI」についても注目が集まっていて、特にエッジ AI カメラと、エッジ AI コンピュータの利用が増えていくと予想されています。

画像認識向けの AI モデルは既に多く利用されてきていますが、SoC などのハードウェアの進化により、小規模な LLM であればローカル環境でも動かせるようになってきました。一方、エッジ AI に関する情報は、クラウド型と比べると不足しています。特に、ハードウェアに依存する部分に関しては、情報を集めるのが難しいです。AI の推論は NPU と呼ばれる専用ハードウェアを使うことが主流になってきていますが、この部分がメカによって異なるため、画一的な方法が確立されていません。

そこで本特集では、ラズベリー・パイやマイコンなど、いわゆるエッジ・デバイスを使った AI に関する技術情報を解説します。なじみ深いハードウェアを使って、実際にエッジ AI 開発の流れを体験することで、より実践的な知識を身につけます。

● 目 次

■第 1 部 動かしながら学ぶ！ミニマル AI の基礎

- ・そもそも AI とは何なのか(ニューラル・ネットワーク基礎)
- ・モデルとフレームワークの話(TensorFlow Lite・ONNX Runtime の話など) ほか

■第 2 部 マイコン・ボード×異常検知で学ぶ実践エッジ AI

- ・開発環境の構築(ソフトウェア&ハードウェア、公開データセットの入手)
- ・学習全体のフローと今回試す 4 モデルの紹介 ほか

■第 3 部 ラズパイ×AI HAT+ 2 で画像認識 AI を作る

- ・AI HAT+ 2 の紹介
- ・開発環境の構築
- ・実験①…リアルタイム物体検出 ほか

■第 4 部 製作事例集

- ・クラウド LLM×マイコンで作る AI 受付ボット
- ・LLM が操縦する自律移動ロボット
- ・その他、さまざまな事例を紹介する予定

広告料金:

スペース	広告料金 (税別)
表 2	440,000 円
表 3	390,000 円
表 4	490,000 円
4 色 1 ページ	360,000 円
2 色 1 ページ	250,000 円
白黒 1 ページ	180,000 円
4 色 1/6 ページ ECN 広告	60,000 円

原稿サイズ:断切版(タテ 257mm x ヨコ 182mm)または、

普通版(タテ 230mm x ヨコ 160mm)

入稿形態など詳細につきましては、別途ご案内いたします。

広告進行日程:

申込締切 :7 月 27 日

データ締切:8 月 5 日

Interface 媒体情報:

発売日:月刊(毎月 25 日発売)

判型: B5 判

公称発行部数:30,000 部

販売方式:全国書店販売, 年間予約購読, 各社インターネットショップ

定価:1,300 円(税込)

広告お問い合わせ:

CQ 出版(株) 営業部 佐藤

112-8619 東京都文京区千石 4-29-14

TEL:03-5395-2134

E-Mail:satou@cqpub.co.jp